

# 拠点名： くまもと有機薄膜技術高度化支援センター

全体構想： 次世代太陽電池である有機系太陽電池や、有機EL照明等に共通して必要となる有機薄膜の材料、製造・評価装置をターゲットに、地域産業が新たなビジネスチャンスを見いだすための共同研究拠点として、熊本県産業技術センター内に、「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」を整備する。

## 期待される地域活性化

半導体製造・評価装置における本県産業界の強みを活かして、半導体、自動車に次ぐ、地域の次世代のリーディング産業として有機薄膜デバイス関連の材料、製造・評価装置産業の振興を図り、産業の集積を目指す。

## 主な共同研究開発課題

本拠点事業では、次世代太陽電池である有機系太陽電池や、有機EL照明等に共通して必要となる有機薄膜の材料、製造・評価装置をターゲットに、地域産業が新たなビジネスチャンスを見いだすため、次の共同研究を行う。

- 有機材料開発に関する共同研究
- 太陽電池素子に関する研究、発光素子に関する研究、ガスバリア材に関する研究
- 周辺技術開発に関する研究
- 光拡散材料に関する研究、研磨材開発に関する研究、ラミネータ装置開発に関する研究、低コストデバイス設計に関する研究
- 商品技術開発に関する研究
- 透明電極に関する研究、ガスバリア評価装置開発に関する研究、放熱型筐体開発に関する研究

提案機関： 官：熊本県  
 学：国立大学法人熊本大学  
 産：熊本県工業連合会

参画機関： 崇城大学、九州工業大学、九州大学、京都大学、財団法人くまもとテクノ産業財団

運営体制： 事業運営委員会  
 委員長 谷口 功 (熊本大学 学長)  
 委員 足立 國功 (熊本県工業連合会 会長)  
 委員 真崎 伸一 (熊本県商工観光労働部新産業振興局 局長)  
 委員 柏木 正弘 (熊本県産業技術顧問)

拠点事務局 熊本県商工観光労働部新産業振興局産業支援課  
 住所：熊本市水前寺6丁目18番1号  
 Tel.096-333-2319 (直通)  
 熊本県産業技術センター  
 住所：熊本県熊本市東町3-11-38  
 Tel.096-368-2101 (代表)

拠点設置場所  
 拠点名：くまもと有機薄膜技術高度化支援センター(熊本県産業技術センター内)  
 住所：熊本県熊本市東町3-11-38  
 Tel.096-368-2101 (代表)

## 1. 熊本県における地域産学官共同研究拠点整備の背景



- 地域における半導体関連産業の集積
  - ・昭和40年代の半導体工場進出を契機に、シリコンアイランド九州の中核を担う日本有数の半導体関連産業の集積が進んでいる。
- 新たな太陽電池関連産業の集積
  - ・近年の太陽電池工場2社の進出により太陽電池関連産業も新たな地域産業の柱となりつつある。
- 2006年11月「熊本ソーラー産業振興戦略」の策定

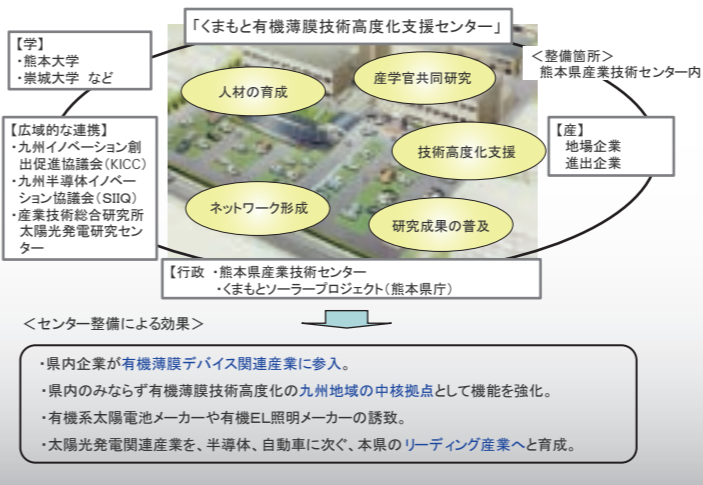
## ■2009年6月「くまもとソーラープロジェクト」発足～太陽光発電の先進県実現を目指して～



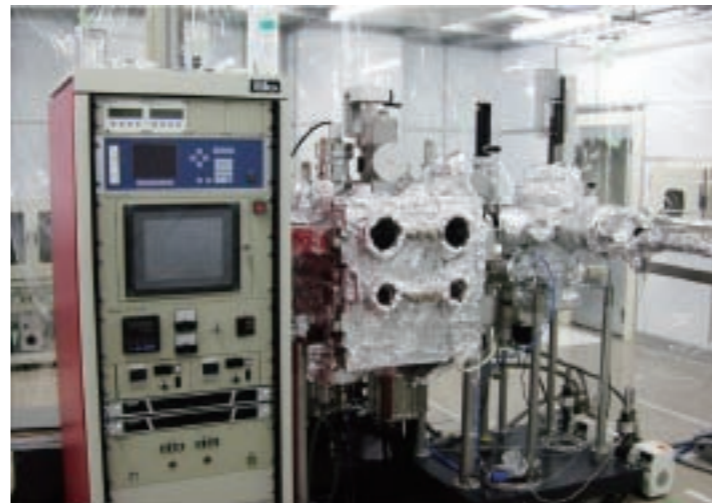
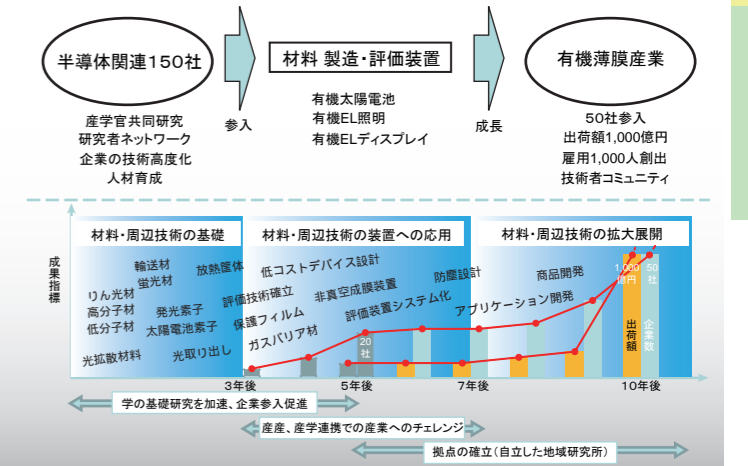
1. 有機薄膜技術を核とする産学官連携による技術拠点の形成(次世代技術の開発)
2. 利用技術の実証試験等
3. 県内事業所、一般家庭への導入促進

- 2009年2月「有機薄膜研究会」を立ち上げ
  - 主催 熊本県、九州イノベーション創出促進協議会
  - 後援 ソーラーエネルギー等事業推進協議会、熊本県工業連合会、九州半導体イノベーション協議会など
  - 協賛 東京エレクトロン九州、平田機工
- 2009年8月 次世代産業創出人材育成・雇用拠点事業(経済産業省)採択
  - ・拠点整備に先行して、有機薄膜技術分野で活躍できる若手研究人材を育成。
- 2009年12月 地域産学官共同研究拠点整備事業(JST)採択
  - ・「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター」を、熊本県産業技術センター内に整備。

## 2. 熊本県における拠点の概要



## 3. 拠点化へのアクションプラン



有機蒸着装置



くまもと有機薄膜技術高度化支援センター